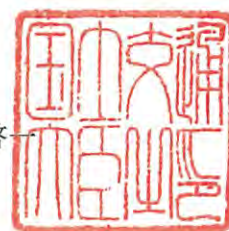


# 認 定 書

国 住 指 第 2102 号  
平成 30 年 10 月 31 日

一般社団法人日本壁装協会  
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
QM-0942
2. 認定をした構造方法等の名称  
塩化ビニル樹脂系フィルム張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

塩化ビニル樹脂系フィルム張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の 厚さ (mm)	5.0 $\pm$ 0.5 以下
表面化粧材の 質量 (g/m <sup>2</sup> )	580.0 $\pm$ 58.0 以下

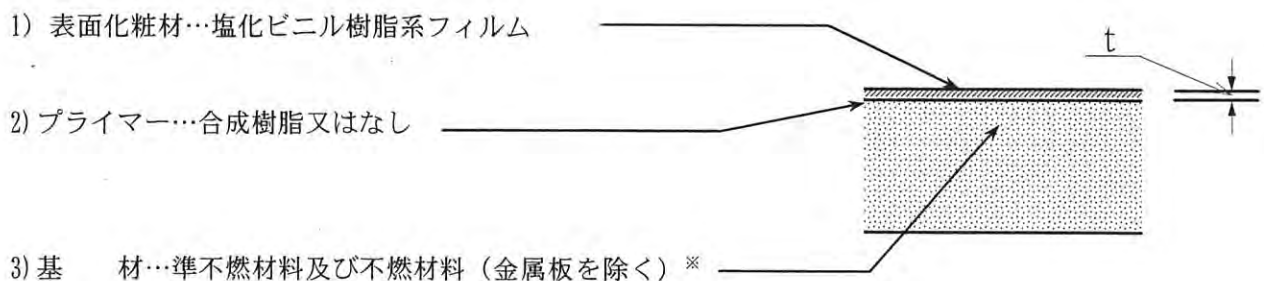
### 3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	塩化ビニル樹脂系フィルム <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚さ <math>5.0_{\pm 0.5}</math>mm 以下</li> <li>・ 質量 <math>580_{\pm 58.0}</math>g/m<sup>2</sup> 以下 (有機質量 <math>190.0_{\pm 19.0}</math>g/m<sup>2</sup> 以下)</li> <li>・ 構成               <ul style="list-style-type: none"> <li>[1] 表面化粧: (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 合成樹脂                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質量 <math>200.0_{\pm 20.0}</math>g/m<sup>2</sup> (固形量) 以下 (有機質量 <math>3.0_{\pm 0.3}</math>g/m<sup>2</sup> 以下)</li> <li>・ 構成 (g/m<sup>2</sup>)                           <ul style="list-style-type: none"> <li>合成樹脂※<sup>1</sup> ..... <math>3.0_{\pm 0.3}</math> 以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は <math>2.7_{\pm 0.3}</math> 以下とする)</li> <li>無機質系充てん材、無機質系顔料※<sup>2</sup>、無機質系添加剤※<sup>3</sup> ..... <math>0 \sim 100.0_{\pm 10.0}</math> (但し、無機質系添加剤※<sup>3</sup> は <math>0 \sim 10.0_{\pm 1.0}</math> の範囲とする)</li> <li>金属材※<sup>4</sup> ..... <math>0 \sim 97.0_{\pm 9.7}</math></li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) なし</li> </ul> </li> <li>[2] 主素材: 塩化ビニル樹脂系フィルム                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚さ <math>5.0_{\pm 5.0}</math>mm 以下</li> <li>・ 質量 <math>250.0_{\pm 25.0}</math>g/m<sup>2</sup> 以下 (有機質量※<sup>5</sup> <math>144.0_{\pm 14.4}</math>g/m<sup>2</sup> 以下)</li> <li>・ 構成 (g/m<sup>2</sup>) ※<sup>6</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩化ビニル系樹脂 ..... <math>30.0_{\pm 3.0} \sim 126.5_{\pm 12.7}</math></li> <li>合成樹脂インキ※<sup>7</sup> ..... <math>0 \sim 12.0_{\pm 1.2}</math></li> <li>可塑剤※<sup>8</sup> ..... <math>26.1_{\pm 2.6}</math> 以下</li> <li>無機質系充てん材、無機質系顔料※<sup>2</sup>、無機質系添加剤※<sup>3</sup> ..... <math>0 \sim 106.0_{\pm 10.6}</math> (但し、無機質系添加剤※<sup>3</sup> は <math>0 \sim 10.6_{\pm 1.1}</math> の範囲とする)</li> <li>金属材※<sup>4</sup> ..... <math>0 \sim 106.0_{\pm 10.6}</math></li> <li>有機質系安定剤※<sup>9</sup> ..... <math>4.0_{\pm 0.4}</math> 以下</li> <li>有機質系顔料※<sup>10</sup> ..... <math>0 \sim 17.6_{\pm 1.8}</math></li> <li>有機質系添加剤※<sup>11</sup> ..... <math>0 \sim 3.5_{\pm 0.4}</math></li> </ul> </li> </ul> </li> <li>[3] 粘着層                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質量 <math>130.0_{\pm 13.0}</math>g/m<sup>2</sup> (固形量) 以下 (有機質量 <math>43.0_{\pm 4.3}</math>g/m<sup>2</sup> 以下)</li> <li>・ 構成 (g/m<sup>2</sup>) ※<sup>6</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>合成樹脂※<sup>1</sup> 粘着剤 ..... <math>40.8_{\pm 4.1}</math> 以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は <math>36.0_{\pm 3.6}</math> 以下とする)</li> <li>有機質系顔料※<sup>10</sup> ..... <math>0 \sim 2.2_{\pm 0.2}</math></li> <li>無機質系充てん材、無機質系顔料※<sup>2</sup>、無機質系添加剤※<sup>3</sup> ..... <math>0 \sim 87.0_{\pm 8.7}</math> (但し、無機質系添加剤※<sup>3</sup> は <math>0 \sim 8.7_{\pm 0.9}</math> の範囲とする)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、マレイン酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充填材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、酸化マグネシウム、酸化スズ、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、杧酸亜鉛、シカ、珪藻土、アルミニウム、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系添加剤は、シカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:金属材は、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとし、形状ははく状、糸状、粉状のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:有機質量は、加工時に可塑剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※6:質量及び組成は、加工時に可塑剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※7:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エレン・リコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:有機質系安定剤は、カルシウム系化合物、マグネシウム系化合物、バリウム系化合物、亜鉛系化合物のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:有機質系顔料は、アリール系顔料、フロロアミン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂※1のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※11:有機質系添加剤は、発泡剤(アリールカルボナミド系、オキシスポンジエンスルホニトリド系)、防かび剤、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
プライマー (下地処理剤)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 合成樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質量 <math>15.0_{\pm 1.5} \text{g/m}^2</math> (固形量) 以下 (有機質量 <math>12.0_{\pm 1.2} \text{g/m}^2</math> 以下)</li> <li>・構成 (<math>\text{g/m}^2</math>) : 1) 又は 1) と 2) の組合せとする</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>1) 有機質 : ①～⑤のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① アクリル系樹脂 ..... <math>10.0_{\pm 1.0}</math> 以下</li> <li>② クロロブレン系樹脂 ..... <math>10.0_{\pm 1.0}</math> 以下</li> <li>③ ウレタン系樹脂 ..... <math>10.0_{\pm 1.0}</math> 以下</li> <li>④ 塩素化ポリプロピレン系樹脂 ..... <math>10.0_{\pm 1.0}</math> 以下</li> <li>⑤ ポリスチレン系樹脂 ..... <math>12.0_{\pm 1.2}</math> 以下</li> </ul> <p>(但し、いずれも有機質系添加剤<sup>※11</sup>を <math>0 \sim 1.0_{\pm 0.1}</math> 含む)</p> <p>2) 無機質</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料<sup>※2</sup> ..... <math>0 \sim 5.0_{\pm 0.5}</math></p> </div> <p>(2) なし</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成 12 年建設省告示第 1401 号第 1 第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第 1400 号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

#### 4. 構造説明図 (寸法単位 : mm)



$t = 5.0$  以下

※平成 12 年建設省告示第 1401 号第 1 第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第 1400 号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの